

メカトロニクス制御技術委員会 (MEC)

第17回メカトロニクス制御技術委員会 議事録 (案)

【日時】：2017年5月17日 (水曜日) 14:00～17:00

【会場】：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 5階リエゾンコーナー 509AB
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

【出席者】

委員長：岩崎 誠 (名工大)

一号委員：熱海武憲 (千葉工大)、池田英俊 (三菱電機)、梅村 敦史 (北見工大)、桂 誠一郎 (慶應大)、島田 明 (芝浦工大)、高橋太郎 (トヨタ)、滑川 徹 (慶應大)、平田光男 (宇都宮大)、藤本博志 (東大)、柳原徳久 (日立産機)、山口高司 (リコー)、涌井伸二 (農工大)

二号委員：辻 俊明 (埼玉大)

幹事：関 健太 (名工大)、名取賢二 (千葉大)

幹事補佐：横倉勇希 (長岡技科大)

【配布資料】

17-1 第16回議事録 (案)

17-2-1 メカトロニクス制御技術委員会名簿

17-2-2 メカトロニクス制御技術委員会メーリングリスト

17-3 研究調査運営委員会からのアンケートのお願い

17-4 フォーラムプール金 (旧部門資金)

17-5 実世界ハプティクスの応用技術に関する協同研究委員会 活動報告

17-6 自動制御連合講演会についての現状報告

【議事】

1. 前回議事録の確認 (資料 17-1)

名取幹事より前回議事録の確認が行われ、承認された。前回議論のあった一号委員の手続きを進めることが確認された。

2. 2017年度の名簿及びメーリングリスト確認 (資料 17-2-1, 17-2-2)

名簿を基に、今年度の構成員の確認を行った。委員の退任、就任について、下記の通り手続きを進めることが確認された。

一号委員 (新任)：内村先生 (芝浦工大)、弓場井先生 (三重大)

一号委員 (退任)：辻先生 (埼玉大) *二号委員就任のため

幹事の交代：関幹事 (名工大) → 後任として横倉幹事補佐 (長岡技科大) が幹事就任

なお、新任の幹事補佐については候補者の議論を行い、コンタクトを取る事となった。

3. MEC の 2017 年度の活動と重点取り組みについて (資料なし)

○メカトロ道場について

昨年度の参加者は博士課程の学生が中心であった。この要因として、企業見学において同業他社の参加が難しいことが一つに挙げられる。今年度の実施については、道場取り纏め担当から実施計画及び依頼があれば技術委員会として協力する。

○産業応用フォーラムの実施について

今年度のフォーラム実施について議論を行った。案として、タイトルを「最新の精密サーボ技術と実践演習」とし、2時間程度で技術報告を用いた事例紹介、2時間程度で MATLAB を用いた設計演習を実施する案が議論された。今後、関連調査専門委員会に実施可能性および詳細について検討いただくこととした。

4. SAMCON について (2017 の実施結果と 2018 について) (資料なし)

SAMCON2017 実施分の予算報告を国際委員会に提出した。SAMCON2018 の開催計画趣意書を国際委員会に提出予定である。期間は 2018 年 3 月 6-8 日、場所は東京電機大(北千住)で開催予定である。技術委員会として開催をサポートすることが確認された。

5. 産業応用部門大会について (資料なし)

2017 年度産業応用部門大会で、シンポジウム「多様化するモーションコントロールの応用」が 8 月 30 日午前に開催されることがアナウンスされた。

6. D 部門英文誌特集号について (資料なし)

英文誌特集号「Motion Control and its related technologies」の投稿が 5 月 1 日に締め切られた。発刊は 2018 年 3 月号の予定。

7. 自動制御連合講演会について (資料 17-6)

島田委員より、これまでの自動制御連合講演会に関するまとめと現状報告がなされた。電気学会は主催学会(7学会)の1つで分担金は2万円である。2017年は電気通信大学で11月10-12日に開催される。OSは6月受付開始で、MEC/IICから「モーションコントロール」で提案予定。島田委員が取りまとめる。なお、資料17-6を電気学会本誌に掲載することに関して、島田委員から事務局奈良様に確認することとなった。掲載可能であれば、資料の内容を関連の技術委員会(D部門IIC、C部門CCT)と連携をとり推敲する。

8. 研究調査運営委員会からのアンケートについて (資料 17-4)

研究調査運営委員会から技術委員長宛に下記2点のアンケート依頼があった。

○ 技術報告が原稿提出から出版まで4-5か月かかっている。原因は出版会社の印刷見本(PDF)の編集出版課での構成やり取りの時間が長い。

○ 国際会議の座長等ができる人の推薦依頼(IEEE-IASの関連)

議論の結果、下記を技術委員会として回答することとした。

○ 出版会社の変更を検討してはどうか。

○ IEEE-IASが取り扱う技術分野は、MEC技術委員会と異なるため推薦は難しい。

(IEEE-IESに関しては、委員全員が問題なく実施できる)

9. フォーラムプール金（旧部門資金）について（資料 17-4）
平成 29 年度の予算申請について確認がなされた。MEC は MEC 優秀論文発表賞の賞状代（¥4,000）を申請している。
10. 委員会活動報告（各委員会から）（資料 17-5）
○実世界ハプティクスの実用技術に関する協同研究委員会
- ・ 3 月 1 日から委員会が設置された。
 - ・ 第 1 回委員会を 3 月 6 日に開催。第 2 回を東京医科歯科大学で 5 月 23 日、第 3 回を 9 月 1 日に函館で開催予定。
 - ・ 9 月 22 日（仮）に研究会（浦和）を開催予定。
 - ・ IECON2017 で SS を提案している。
 - ・ SAMCON2018 で IS を企画予定。
11. その他（協同研究委員会設置について）
次期モーションコントロール委員会については、協同研究委員会として申請するが、技術報告を提出することが確認された。今後の傘下委員会は基本的に調査専門委員会として申請することが望ましいと意見交換された。

【次回以降の日程】

次回委員会を、産業応用部門大会終了後の 9 月 1 日（金）に函館で、もしくは 9 月 8 日（金）に名古屋で開催する。
次々回委員会と見学会を 11 月 17 日（金）に（株）ハーモニックドライブシステムズ（長野）で開催する予定。

以上